



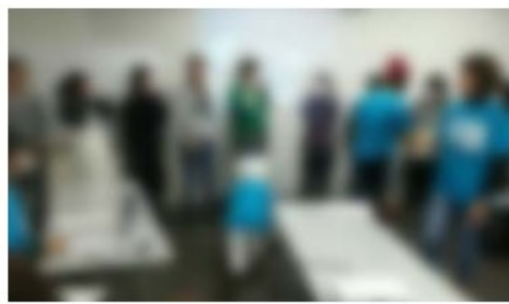
立川キャラバン隊「ひこうき雲」公演報告

理解啓発委員会 委員長 M.N

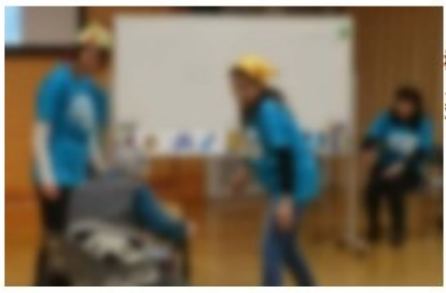
知的・発達障害の特性を知ってもらう種まき活動の機会をいただきましたこと、紙面を通して関係者の皆さまに感謝申し上げます。ご参加いただいた皆さまも、心よりありがとうございました。次年度も、たくさんの種まきができますように(*^-^*)~ <E

★1月22日 立川市内保育園保育士対象公演

市内保育士さんの研修会で、障害特性等を疑似体験より感じていただき、子どもを保育園に通わせていたお母さんの体験談を聞いていただきました。発見や再認識から「子どもの視点に立った保育に生かしたい。」「保育園、保育士の存在意義を考えた。」等の感想があったそうです。



★1月31日 育成会西東京市保谷支部対象公演



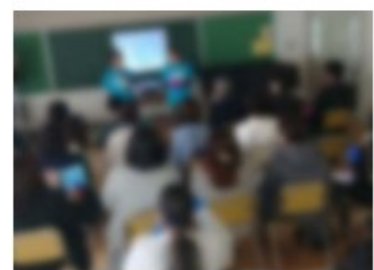
言葉がわからない、伝わらないのコーナーでは、90歳を超え教師の男性が積極的に体験して下さいました。生涯、学ぼうと姿勢に、私たちの方が元気をいただきました。

公演終了後、保谷支部の会員さんより、自分たちでもキャラバン隊を立ち上げたいと言われていました。種まきの輪が各地域で広がっていくことを願っています。

★2月20日 清瀬市青少年問題協議会 第一地区委員会対象公演



清瀬市の小中学校の校長先生や副校長先生もご参加下さいました。終了後、「わかりやすい内容で感動しました。教職員の研修等にも考えたい。」というお言葉をいただきました。



★2月27日 羽衣町寿教室対象公演

参加者の感想より

テレビ等で種々見たり聞いたりして、ある程度知ってはいたつもりでしたが、実際身近で聞いたり体験したり、お話を聞いて、感情がすごくゆさぶられ、心臓がドキドキしたり、体全体で改めて感じる事ができ、本当に、今日、来てよかったと思いました。



★3月13日 立川市立松中小学校4年生対象公演

2クラス69名の元気な生徒さんが、3つの疑似体験をしました。

障害を持つ人の立場に立って、生きづらさや苦手なこと等を体ごと感じてもらいました。終わった後の感想で、「障害を持っている人には、優しく接したいと思いました。」など温かい声を聞きました。そのような声が活動のエネルギーとなっています。